

コレクション展 2016-1

## あふれる「せい」 一生、勢、盛、精

2016年2月28日(土)～6月5日(日)

### 作品からあふれる「なにか」と向き合うこと

なぜか気になる作品、描かれているものは判然としないが心惹かれる作品との出会い。そして、作品に呼び止められるような芸術体験は誰しも持っているのではないのでしょうか。

本展では、目には見えなくとも作品に宿り観る者に訴えかける「なにか」を「せい(生、勢、盛、精)」というキーワードで考察します。

抽象的な表現は、具象的な表現よりも解釈が難しいと思われがちですが、目には見えない概念や力の作用、気の動きなどをアーティストたちがどのようにして視覚化してきたかを知る機会とし、各作品からあふれるさまざまな「せい」を存分に受け止める場となれば幸いです。

#### 【展示構成・出品作家】

##### 1. 生

一いきること。つくり出すこと。

人が生きていく上で不可欠な根源的なエネルギーを作品へと結実させた表現を紹介。

荒木経惟、大木裕之、工藤哲巳

##### 2. 勢

一いきおい。力。

動的な構図、自由な色彩、激しい身振りを伴った表現を紹介。

白髪一雄、杉全直、田中敦子、元永定正、カレル・アベル、ウィレム・デ・クーニング

##### 3. 盛

一もりたてること。さかん。

ときに装飾的な描写によって、華美で過剰な印象を与える作品を紹介。

宇佐美圭司、篠原有司男、森村泰昌、山本富章、チャック・クロース、エンツォ・クッキ、ロバート・ラウシェンバーグ、ジュリアン・シュナーベル、アンディ・ウォーホル

##### 4. 精

一たましい。不思議な力をもつもの。

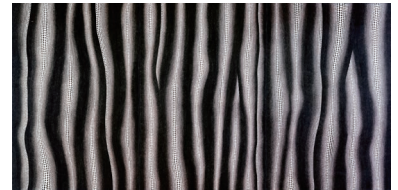
自身が受けた啓示をひとつの拠り所とし、心の声に従うことで生み出された作品を紹介。

荒川修作、草間彌生、戸谷成雄、松澤宥、三木富雄、村上友晴

### 開催概要

- |        |   |
|--------|---|
| 【会期】   | 2016年2月28日(日)～6月5日(日)   |
| 【開館時間】 | 10:00-17:00 ※入場は16:30まで   |
| 【休館日】  | 月曜日(3月21日を除く)、3月22日(火)  |
| 【観覧料】  | 一般 370(280)円、大学生 270(210)円、<br>高校生・65歳以上 170(130)円<br>※中学生以下無料 ※( )内は30人以上の団体料金<br>※5月5日(こどもの日)は高校生無料 |

広島市現代美術館(学芸担当:角 広報担当:後藤、鈴木)  
〒732-0815 広島県広島市南区比治山公園 1-1  
TEL/ 082-264-1121(代表) FAX/ 082-264-1198  
E-MAIL/ hcmca@hcmca.cf.city.hiroshima.jp



草間彌生《よみがえる魂》1995  
—「精」より



荒木経惟《ヒロシマ2花》2009  
—「生」より



杉全直《交叉A》1960  
—「勢」より



篠原有司男《地下鉄の入口》1981  
—「盛」より



松澤宥《ピース・アート・アクション  
—消滅マングラ》1982  
—「精」より